

## 論文原稿チェックリスト

著者は、論文原稿が下記項目の要件を満たしているか確認し、□に印（✓）を付け、投稿時に提出すること。また、指導教授（又は指導責任者）は「投稿規程」に従って原稿を確認の上、下記にサインしてください。

- 本論文は、既に出版されていない、または、出版のために他の雑誌に投稿していない。
- 本論文掲載のデータに関して、利害の衝突はない。ある場合には別に記述すること。
- 本論文の、ヒト、実験動物の研究は、大学の倫理委員会などにより承認され、本文中に記載されている。
- ヒト試料を用いる場合には原則としてインフォームドコンセントがとれている。

### 原稿の様式について

- 原稿はA 4判用紙に 11~12 ポイントの明朝体あるいはそれに準ずるフォントを用い、1 頁当たり約 800 字とする。必ず頁数を付す。
- 原稿はメール若しくは電子メディア（CD-RW など）にて提出している。

### 表題（タイトル）頁について（以下の項目を第 1 頁に記す）

- 表題（タイトル）は、簡潔で必要十分な情報を含んでいる。
- 著者の氏名、所属、および連絡先を記入する。

### 本文の構成について

- 要旨は 600 字以内であり、研究の概要ならびに結論を明記している。
- 本文は原則として、「緒言（はじめに）」、「材料（対象）および方法」、「結果（成績）」、「考察（考按）」、「まとめ」、「謝辞」の順に構成されている。
- 一般的でない省略型の単語は使用されていない。省略語は初出時に正式名を記載し、略語を括弧書きして定義する。定義後は、略語を用いる。（例 quality of life (QOL)）
- 「緒言（はじめに）」では研究の背景、目的について簡潔に記載されており、この研究に至った経過がわかる。
- 「材料（対象）と方法」では研究対象、材料、方法、実験計画が記載されている。
- 使用薬剤は一般名で示されている。商品名の場合は製薬会社名が記載されている。
- 必要な場合においては、適切な統計処理手法により適切な処理が行われている。手法は明確に記載している。
- 「結果（成績）」では考察に必要な事実のみ、詳細且つ明確に記載されている。
- 「考察（考按）」では緒言で提示された疑問または仮説について、結果で示された所見に基づき、論理的に展開されている。

### 引用文献について

- 文中（図表等含む）で引用した順に番号を付け、一覧になっている。
- 文献の書き方や省略方法は「投稿規定」の記載例に従っている。
- 審査中原稿、未発表所見、私信は、引用文献として認められない。

## 表、図、写真について

- 図は鮮明である。
- 簡潔な見出しおよび説明文がある。
- 標準的でない略語について、図表の下の説明文で意味が明らかにされている。
- 引用・転記・改変した図表等には文献番号をつけ、出展を明記している。

## 英文抄録について

- 英文抄録は、論文の主旨が明確にわかる。
- 英文抄録は、本文とは別頁となっている。
- 題名（全部大文字）、著者名、所属名がその順に第 1 頁に記されている。
- 英文抄録は 300words 以内（題名・著者名・所属名は含まない）であり、ダブルスペースで A4 判の用紙にタイプされている。

指導教授(又は指導責任者)

年 月 日

サイン

著者(筆頭)

年 月 日

サイン

連絡先 所 属 :

電 話 番 号 :

メールアドレス :

~~~~~  
(備考)